

## 7年前の思い出「夏井いつき句会ライブ」

前田秀一

村元伸行さんからののお便り（2023年11月17日付LINE）を拝見して身につまされるものがあります。そんなところへ、佐藤多恵子さん、網佑子さん、楠野圭子さん、加龍恵子さんともども参加した「夏井いつき句会ライブ」（帝塚山学院大学にて）の思い出写真が蘇ってきました。



当時（「第32回金剛俳句会「兼題：秋）」ご紹介いただいた「句報」には、中野陽典さんはもとより佐藤多恵子さん、富岡訓子さんおよび今西邦一さんのお名前が見えます。

夏井先生に教わった作句「魔法の技」は、「季語」＋「俳句の種（誰も書きそうにないこと）」、要領は最初に「俳句の種」（例えば、十二音のフレーズ）を見つけ、最後に俳句の種に似合う季語（例えば五音）をくっつける でした。

参加者の挙手による優秀作品選句で5位入選句「石蔭の黄や正倉院の大き裂」関する私（前田）の句評「石蔭の花は、冬の厳しい自然の中に毅然と咲き存在感があります。正倉院は日本の歴史のなかで毅然とした存在感があり、その裂の美しさは相互に相通じる感動があります。」について夏井先生におほめに預かりました。

中野陽典さんから、「皆様俳句に興味をお持ちで、いろいろ勉強の機会をとらえ切磋琢磨されて頼もしいかぎりです。それぞれ、どんどん対外試合にも出て行きましょう。」と激励のお言葉をいただきました。

